



万葉岬からみた瀬戸内海国立公園



2024～2025年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

会 長 神谷 栄 幸
幹 事 高谷 俊 祐
会報委員長 岡田 佳 也

例会日/毎週水曜日 12:30～13:30
例会場/相生商工会議所 Tel(0791)22-1234
事務局/相生市旭3-1-23 相生商工会議所内
Tel(0791)23-0144 Fax(0791)22-2290

例 会 記 録

2024年(R6)年12月4日
会報委員 田口 務

プログラム12月11日(水)

「いろいろクイズ」

(平田会員)

次週プログラム12月18日(水)

講談・国際ロータリー100年史
第5話「ビッグジムの大冒険
世界とロータリー」

講談師 四代目 玉田玉秀斎
(石原会員)

◆点 鐘 (神谷会長)

◆ソング “君が代” “四つのテスト”

◆出席報告 (大西恒例会運営委員長)

会員数	出席数	事前 メイクアップ	出席免除
27	26	0	1
本日出席率	事後 メイクアップ	11/20 欠席数	11/20 出席率
100%	1	0	100%

事後：石原会員 (上郡佐用 RC)

◆出席100%のお祝い

25年 半田会員

◆会長の時間 (神谷会長)

こんにちは。

まず、先週土曜日にホテルモントレ姫路で行われたIMに出席された皆様、ご苦勞様でした。特に平田会員、高谷会員には発表並びに資料作成をお願いしました。テーマに沿った素晴らしい内容だったと思います。有難うございました。

さて、本日は月初めの例会ですので理事会報告をさせていただきます。

○第6回理事会報告

1. 協議事項

1) 中間決算の件

田口務会計より報告があり、承認されました。

2) 2025-26年度役員・理事の件

鳴瀬次年度会長より説明があり、承認されました。

2. 報告事項

1) 出席免除の願いが栗尾会員より提出されました。

3. その他

1) 1月8日の第1例会はクラブ協議会です。

5大奉仕委員会の委員長さん方は、報告がありますので準備の方お願いいたします。

◆幹事報告 (高谷幹事)

○姫路ロータリークラブ創立75周年記念例会・祝賀会の案内

日時 2025年2月18日(火) 16:30～

場所 ホテルモントレ姫路

◆委員会報告

○国際奉仕委員会 (下田委員長)

使用済み切手収集に松田会員よりご協力いただきました。ありがとうございます。

○ロータリー財団委員会 (阿賀委員長)

ロータリー財団へ大川会員、阿賀会員よりご寄付をいただきました。

○ゴルフ同好会 (大西恒ゴルフ幹事)

令和7年1月26日(日)、相生カントリー倶楽部で江見重人杯取り切り戦を行います。奮ってご参加下さい。

○SAA (大西賢SAA)

飢餓救済・ポリオ根絶BOXに10,841円のご協力をいただきました。有難うございます。

◆SAA (大西賢SAA)

ニコニコ箱

神谷会員…先週の IM に出席された会員の皆様、ご苦勞様でした。特に平田会員、高谷会員には資料作成、発表をありがとうございました。お陰様で無事終えることが出来ました。

高谷会員…先日の IM は、発表者の平田会員含めお世話になりました。勢志会員のスピーチよろしくお祈いします。

鳴瀬会員…先日の IM に出席された皆様お疲れ様でした。そして難題を発表された平田会員ご苦勞様でした。次回もよろしくお祈いします。

平田会員…誕生日、結婚記念日の自祝。

半田会員…出席 100%25 年の自祝。

松田会員…誕生日の自祝。嬉しくもあり、嬉しくもなし。

岡田会員…先日の IM では平田会員、高谷会員発表&準備大変お疲れ様でした。大成功!お誕生日の自祝。

栗尾会員…IM では平田会員、高谷会員ともにお疲れ様でした。素晴らしい発表でした。

勢志会員…先日は IM ありがとうございました。本日新会員スピーチです。よろしくお祈いします。

井川会員…相生 CC 月例杯、良いスコアーでした。自祝。

大西賢会員…ニコニコ箱へ。

◆プログラム (大西恒例会運営委員長)

「年次総会」

議長 神谷会長

○中間決算報告 (田口務会計)

○次年度役員候補者の発表 (鳴瀬次年度会長)

《役員》会	長	鳴瀬謙一
副 会	長	下田信治
幹 事		松浦哲哉
会 計		田口晴喜
S A A		岡田佳也
《直前会長》		神谷栄幸
《理事》職業奉仕委員長		半田 齊
社会奉仕委員長		阿賀慶彦
青少年奉仕委員長		富田裕子
国際奉仕委員長		栗尾重徳
ロータリー財団委員長		大川幸矩
		江見重人

以上、拍手を持って承認いただきました。

○新会員スピーチ



勢志会員

みなさん、こんにちは
改めまして自己紹介をさせていただきます。みなと銀行相生支店の勢志です。

4月に転勤で相生支店に赴任し、6月から新会員としてロータリークラブに入会させて頂いております。早いもので今年も師走となり、ロータリーも先日の IM に参加させて頂き、少しではありますがロータリーとは何か? 分かり始めたところです。まだまだ奥が深いものだと思いますので、これからも皆様と楽しいロータリーライフそして相生での生活を楽しまたいと思っています。

本日は自己紹介の時間を頂きましたので、さほどドラマチックでもない人生ではありますが、赤裸々にお話したいと思いますので、どうか最後までお聞きください。

私は昭和53年1978年、5月生まれの46歳です。家族は神戸市北区の自宅に妻と娘、今年で10歳になるうさぎがおります。

自宅は、実家と徒歩5分のところにあり3歳から27歳で転勤で1人暮らしをするまで実家に暮らし、結婚し子供が生まれてから実家近くに築20年の戸建てを購入し住んでおります。

このたびの転勤で人生2回目の一人暮らしを満喫しているところです。

両親は兵庫県の北部 丹波周辺の出身で、父は神戸市東灘区にある神戸市中央卸売市場、東部市場にある青果卸の地元企業に勤める会社員、母は専業主婦です。3歳年上の兄がおり、現在は監査法人に勤めております。

実家と自宅がある、神戸市北区は今では雪が降ることも減りましたが、幼少期はマイナス二桁になる日もあり毎年雪かきをしたり、窓が凍って開かなくなるほどでした。

今はユニクロのお蔭で冬でも暖かく過ごせますが、当時は4枚5枚重ね着をすることは当たり前で、少し汚い話ですが袖口を鼻水でコペコペにして外で遊んでおりました。

新興住宅街でしたが、引っ越した当時は空地も多く虫取りをしたり自転車で走り回ったり、ほとんど外で遊ぶ生活でした。

ファミコンというものが世に出るまでは、かくれんぼや鬼ごっこなど外で遊ぶことがほとんどでした。父は市場に勤めていたことから、朝は早いのですが夕方には帰宅しておりましたので、家の前でキャッチボールをしたり、自宅に車がなかったものですから、たまに会社のトラックで帰ってきたときには近所にドライブに連れて行ってもらうことが楽しみでした。

駅まで大人の足で徒歩15分かかるところを、4歳

から歩いておりましたので、学生時代に運動部に所属した時には、体力だけは友人よりも自信がありました。

父は、いつもラジオで「桜井一枝の土曜なつメロ天国」を聞いていたので、人生で初めて覚えた歌謡曲は、細川たかしの「北酒場」と石原裕次郎の「夜霧よ今夜もありがとう」です。よくお風呂で一緒に歌ったことが懐かしい思い出です。

小学校、中学校と友人や先生に恵まれ、当時の夢は学校の先生になることでした。ただ、学校の成績は中学2年生までは下から数えた方が早く、中学3年生になったときに焦って、兄が通っていた塾を頼ったのですが、入塾テストで落ちました。今、思えばほとんど白紙の回答用紙だったので当然かもしれません。友達に通っている個人の塾に行くことになったのですが、漢字もロクに書けなかったので入塾の際に志望校を書かないといけなかったのですが、現実的に受験できそうな高校は漢字で高校名が書けず、いつも住所で書いている兵庫という文字を書いたのが、人生の転機だったかも知れません。公立の進学校だったので、塾の先生から「目標には責任を持ってもらう」と言われたときは絶望しかありませんでした。

当時、学校の先生になりたいという夢を多少脚色し、担任の先生に「先生のような先生になりたいんです」と訴え続けた結果、いろいろなサポートをして頂き、無事、志望校に入学することが出来たのは奇跡でした。

高校時代は、今も趣味にしている硬式テニス部に入部し、テニスは大学でもテニス部に所属し、大学2年生からみなと銀行に入社する前日までインストラクターのアルバイトをしていました。高校1年生の冬に、あの阪神淡路大震災があり、学校が避難所になったことから近隣の高校を間借りしたり、仮設校舎を建ててもらい通学する場所が転々とする学生生活でした。当時、震災発生直後から鉄道も止まり、学校から連絡がない日が続きました。友人から高校が避難所になってボランティアの出が足りないという話を聞き、正直なところは遊び半分でボランティア活動に参加しましたが、今となってはいい経験でした。全国から送って頂いた救援物資を配ることをしていたとき、日本人はどんな状況でも理性的であると、よくニュースで言われますが、それでも避難されている方たちも極限の状態であったことから、かなり強い口調でもっと配れないか求められたり、私たちのテニスコートにコンクリートの基礎をうって家を建てようとする人がいたり、かなり驚きました。一方で、家から長田区まで電車がなかったのも、事情を説明しヒッチハイクで避難所まで通っていましたが、快く車に乗せてくれる方、自衛隊の隊員さんも「本当は規則でダメだけど…」と言いながら

トラックに載せてもらったときは感激したことを覚えています。

高校時代は、大震災のあと地下鉄サリン事件がおきて世の中は決して明るい時代ではなかったですが、私の高校生活は充実していたように思います。高校は制服もない自由な学校で、先生方も生徒を一人の大人として接してくれたので細かいことを注意するよりも人としてどうか、というような指導をしてくれました。自由と責任ということを少し考える時間だったと思います。

大学は自宅から通える私立でない学校、が両親からの暗黙のプレッシャーでしたので浪人の危機もありましたが、何とか公立の学校に通うことが出来ました。

先ほどお話した硬式テニス部に入部したのですが選ぶほどサークルもなかったことが理由ですが、これも人生の転機だったと思います。

当時、同級生の女子テニス部の子と2年程お付き合いをしてましたが、アルバイト先の社員コーチが今の妻です。アルバイトでもいい経験をさせてもらいました。学生のコーチでも集客できればアルバイト代が上がる仕組みでしたし、ラケットやシューズのキャンペーンでは販売成績がよければ臨時ボーナスもあったので、もしかしたら今以上に一生懸命仕事をしていたかも知れません。

キャンペーン前になると、普段より少し厳しめのボールを打って、試し打ちのラケットを使ってくれる生徒さんには甘いボールで気持ち良く打ってもらい、無事ご購入してもらったり、ボーナスが出る前にはそれはそれは熱心にセールスしたものでした。また、担当クラスの継続率が上がるとバイト代の単価が上がるので、クラス単位で遊びや飲み会の企画をして、お友達も誘ってもらってスクール生の勧誘もしていました。幼稚園の先生や看護師さんも多く、今思えばもっと恵まれた環境を謳歌すべきでしたが、人生で後悔していることのひとつです。当時、付き合っていたのですが、隣のコートでレッスンをしていた妻に未だにふざけたレッスンをしていたと怒られています。

さて、ここからみなと銀行に入社してからのお話です。

学校の先生が夢ではあったのですが、大学の先輩に金融機関に入社した先輩が多く、就職活動はハウスメーカーやシステムエンジニアなど色々な会社をチャレンジしたのですが、地元の会社ということが理由です。

当時は金融危機、当社も阪神銀行とみどり銀行が合併した直後で、入社当時は銀行なんか就職しなくてもいいのにと先輩や上司からよく言われました。たしかに、当時のことを思い出すと混沌としていました。合併後も旧銀行がどちらかで、社

員間もギクシャクしていましたし、業績至上主義だったこともあり今よりも殺伐としていたように思います。入社後、3年目で初めての転勤が東京支店で初めての一人暮らしになりました。東京で4年半勤務し、今となってはいい思い出ですが、手取りが14万円ほどの時に自費で神戸に帰ってくるが大変で、遠距離で付き合っていた妻と結婚するきっかけになりました。もちろん、経済的な理由だけではないことを強調しておきます。高砂出身の妻を東京に迎えて、初めて山手線に乗った時のことは今でも鮮明に覚えています。2年ほど都内で暮らして、なんちゃって関東弁話していた私に「何その話し方、気持ち悪る。だいたい何でこんな電車の中は静かなん」と大声で話す妻は注目の的でした。

お金はありませんでしたが、二人とも体力だけはあったので、殆ど都内を自転車で走り回っていました。特に買い物も外食もしなかったですが、二子玉川や自由が丘、渋谷など聞いたことがある街には休みのたびに自転車で行っては自転車で帰ってくるような休日を過ごしました。自転車といえば、社宅の奥様会では自転車で有名人のお宅訪問が流行っていたそうです。そんな妻とテニスの試合にも出て、漫才みたいな会話をしていたので、社宅の近くに住んでおられた運送屋さんを営むご夫婦に声を掛けていただき食事に誘っていただいたり、テニスサークルにも誘っていただいたり、お子様が遠方にお住まいだったこともあり、本当の子供の様に接していただき楽しく過ごすことが出来ました。本当に感謝していますが、神戸に転勤で戻るときはバタバタで引っ越ししましたので、きちんとお礼が出来たか、今思えば不安にもなります。東京では相生支店の前の支店長の久保田さん、右手さんと一緒でした。

神戸の支店に戻ってからは、兵庫支店、六甲道支店、尼崎支店で営業担当として、本部経験を経て、4年前の明石支店から支店長職を務めることになりました。

東京支店で当時、銀行内でもルールが定まっていなかった他の銀行と協調でご融資をするシンジケートローンという融資を入社3年目から携わっていて、それなりに大変なこともありましたが、頼られることも多く天狗になっていたことが、その後の仕事に大きく影響しました。東京から帰ってきた兵庫支店は長田の地域でクセが強い社長も多く交渉は一筋縄ではいきません。社内もルールがない中で、自分がすることはほぼその通り出来るのが当たり前になっていたことで、いわゆる泥臭く仕事をするという姿勢がなかったので惨憺たる状況でした。変なプライドだけは高かったのですが、当時の上司は困り果てていたと思いますし、懇意にさせて頂くお客さまも限られ

ていました。当時は、毎日のように飲みに行っていましたし、仕事はとにかく怒られること恐れていましたので、出来るだけ無事に毎日を過ごすことが全てでした。

そんな私が変わるきっかけを作ってくれたのは会社の上司、先輩よりもお客様でした。色々なお客様にお世話になったのですが、一番思い出に残っているのは、尼崎で担当したお客さまでした。とにかくよく叱られたお客様でしたが、叱られる理由はただ一つで、経営する会社や社員さんの為にならないことは何であれ叱られました。でも、為になることは無条件で喜んでもらえました。今でこそ、お客さまの困りごと解決を重視する企業文化になってきましたが、そんな営業が結果的には銀行にとってもいいことに繋がるという気付きを得た初めての経験でした。

今は労務管理の面で出来ませんが、金曜日のお昼に東京で工場を買おうと思っていると、聞けば、家に帰らず夕方の夜行バスに乗って現地を見に行き、土日で融資稟議の組立をして月曜日に社内回覧をする。営業時間中に資料を作る時間がなければ休日にお客さまの事務所で営業データを見せて貰いながら資料を作る。社員旅行に混ぜて貰って社員さんとも仲良くなって個人的なご相談も聞くなど、今は時効とっていますが早く対応できるように出来ることは全てやったと思います。今は働き方改革や不祥事防止の観点で、そのようなことは出来ませんが要領よく仕事をするのを覚える前には、たくさんの失敗や上司の目を盗んで自己責任とする仕事の経験も必要だったと思います。

いつの間にか、人財を育成する立場になり自分の経験談を長々話す上司は疎まれることは重々承知はしていますが、こんな私でも色々なお客さまにお世話になり育てて頂いたことでそれなりに評価され、このような環境で仕事が出来る機会を得たことは、後輩や部下と呼ばれる仲間たちに伝えていきたいと思っています。

そして、このロータリークラブという組織に入会できるのも限られた支店で支店長として勤務できるからこそです。出来たら会社にいる限り相生で勤務したいと思っていますが、いつかは転勤してしまう日が来てしまいそうです。

ただ、今は先のことは考えず、ロータリーライフ、相生ライフが忘れがたい日になるよう精進してまいりますので、改めて皆様どうぞよろしく願いいたします。

つたない新会員スピーチとなりましたが、以上で私の自己紹介とさせていただきます。ありがとうございました。

◆点 鐘（神谷会長）